

令和2年度農高就農促進対策助成事業

事業主体名 徳之島高等学校

1 目的

島内の視察研修を充実させ、農業に対する視野を広げることにより、徳之島の農業に関わる人材育成につなげる。

2 実施状況

(1) 島内視察研修の実施

6月25日、3年生7名を対象に、島内の茶農家「徳之島製茶」への視察研修を行い、べにふうき茶の収穫体験や製茶の技術について学んだ。

2月24日、徳之島物産、農夢ワールド、あまみ徳之島絆ファームを訪問し、食品加工に関する研修や農場視察等を実施した。



食品加工に関する研修

(2) マンゴー農家視察研修の実施

6月10日、2年生7名を対象に、マンゴー農家（清水農園）視察研修を行い、マンゴーの木の剪定法や管理法について、県農業普及課の職員から説明を受けた。



マンゴー農家視察

(3) ハブについての特別講座の実施

6月17日、講師に元東大准教授（服部正策氏）を迎え、ハブの生態や特徴について学んだ。

(4) 徳之島コーヒー現地研修会

本校は、コーヒー苗の生産を委託されており、11月4日に徳之島コーヒー生産者会の会員の方々と共に、県農業開発総合センターでの研修会に参加した。



コーヒー現地研修会

(5) 農産物販売会

6月と11月に実施した農産物販売会等で使用するのぼりを作成し、活用できたした。

(6) マンゴーの移植作業体験

1月22日、業者に依頼して、マンゴーの移植作業を実施した。生徒の体験を兼ねて、実施できたので、実際の移植作業について学ぶことが出来た。



農産物販売会

3 今後の課題、取組

今年度は、農業大学校への進学希望者はいなかったが、鹿児島大学農学部への進学が一つの成果としてあげられる。来年度は、県立農業大学校への進学希望者が、生物生産系列2年生の中に3名いるため、進学に向けた支援を継続したい。

また、昨年度から、地元の食材を用いた食品加工にも取り組んでおり、今年度開発した、3つの新商品を地元の役場との連携を通して、地域の産業として展開していく計画である。